

令和7年度 津市立三重短期大学学校推薦型選抜入学二次募集試験問題（小論文）解答および解答例

問題一（4文字）

解答

「むなしい」または「むなしさ」

問題二（70文字）

解答例

スマホに限らず、私たちの周囲には、情報であり、商品であり、娯楽スポットであり、「間」を生じさせないような仕組みがはりめぐらされているから。

(69文字)

問題三（400字）

解答例

間をあってはいけないものとして、次々と埋めていく現代社会の中では、むなしい間から自分らしくてクリエイティブなものが生み出されたり、それが評価されるまでの長い間に耐えたりするという機会も、どんどん失われている。間は、クリエイティブなものを生み出す可能性を秘めている一方、容易に魔にも転換してしまう危険性があるため、間というものを知り、それにどう向き合うか語り考えることは、人が生きていくうえで、とても重要であるという筆者の考えに同意する。私自身スマホに釘付けであり、むなしい間どころか勉強や友人との交流といった必要な間さえ、デジタル的に埋め尽くされている。自分らしい意見や作品を生み出したり、他者に認められたりするにはむなしい間を耐える必要がある。一方で魔に飲み込まれないように、教養や学問を身につけ、他者と語り、むなしい間に向き合えるように自分の内面を見つめなおしていく必要があると思った。

(395文字)